

オオサンショウウオの暮らす清流を守ろう！ 自然体験のフィールドづくりからはじめる水 と緑の回廊の再生

活動地域  岡山県真庭市

ひろげる助成

3年目

実践

啓発活動としての調査会・**25回(日)**
環境学習会の開催

活動の拠点となる
フィールドづくり **8か所**

今年度計画の達成度 **70%**

目標達成度 **75%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

遡上スロープの設置を計画しているハンザキ大明神裏の堰堤下流の旭川にはチュウゴクオオサンショウウオ生息の可能性があるということで、スロープ設置が難しくなった。

■工夫した点

遡上スロープの設置という旭川での保護対策工事(作業)に向けての関係者対応と並行し、下和川水系での調査保護活動と自然体験型環境学習による清流環境保全活動を進めた。



下和川長とろでの川の自然体験型環境学習

課題

オオサンショウウオの個体群が豪雨の度に流され、元の生息域に戻れないことに加え、以前の生息域も河川工事などによって環境が改変されており、生息個体数の減少が進行。

目標

豪雨により流されたオオサンショウウオの個体群の保護を図るとともに、生息地となる清流環境の保全と再生を進めることで、オオサンショウウオの永続的保護を図る。

活動内容と成果

豪雨の度にオオサンショウウオの個体群が流され、生息個体数の減少が著しい岡山県北部の生息地について、「オオサンショウウオの暮らす川づくり」を進めるための調査・検討を行い、代表的な生息河川である田羽根川についてハンザキサングチュアリ(オオサンショウウオ保護管理河川)として保護対策づくりを行うとともに、新型コロナウイルス禍においても、美しい清流の環境づくりを進めている下和川「長とろ」を活動拠点に、県内広くから多くの親子が参加する体験型環境学習会を開催し、オオサンショウウオ生息地再生活動の輪を広げることができた。



下和川水系でのオオサンショウウオ観察会

全助成期間の活動を振り返って

美しい渓流の環境を残し、自然体験学習のフィールドとしている下和川水系では、健全なオオサンショウウオの生息環境・繁殖環境が維持されていることが確認され、田羽根川水系での保護活動とあわせて、下和川長とろ、植杉川、山乗川をフィールドとした自然体験学習を進めたことにより、倉見川など隣接地域においても、オオサンショウウオの暮らす川づくりについても、地域住民の理解と協力のもとに活動を拡大させることになった。



隣接地(倉見川)での自然体験学習

〒689-2352
鳥取県東伯郡琴浦町浦安250-10
電話：0858-53-1237
E-mail：eac-gren@po.harenet.ne.jp
HP：http://fine-country.com/harenokuniyaseiseibutsu.htm



今後の
展望

オオサンショウウオの生息地であり、美しい清流の自然や景観がみられながら、自然体験活動や環境学習の場として利用されていない岡山県北部の清流及びその流域をフィールドとした自然体験型環境学習プログラムを作成・実施するとともに、自然体験学習ワークショップの開催とフィールド整備と、清流流域での自然体験学習の人材養成、実施・運営体制づくりを行いながら、「オオサンショウウオの暮らす川づくり」を進める。